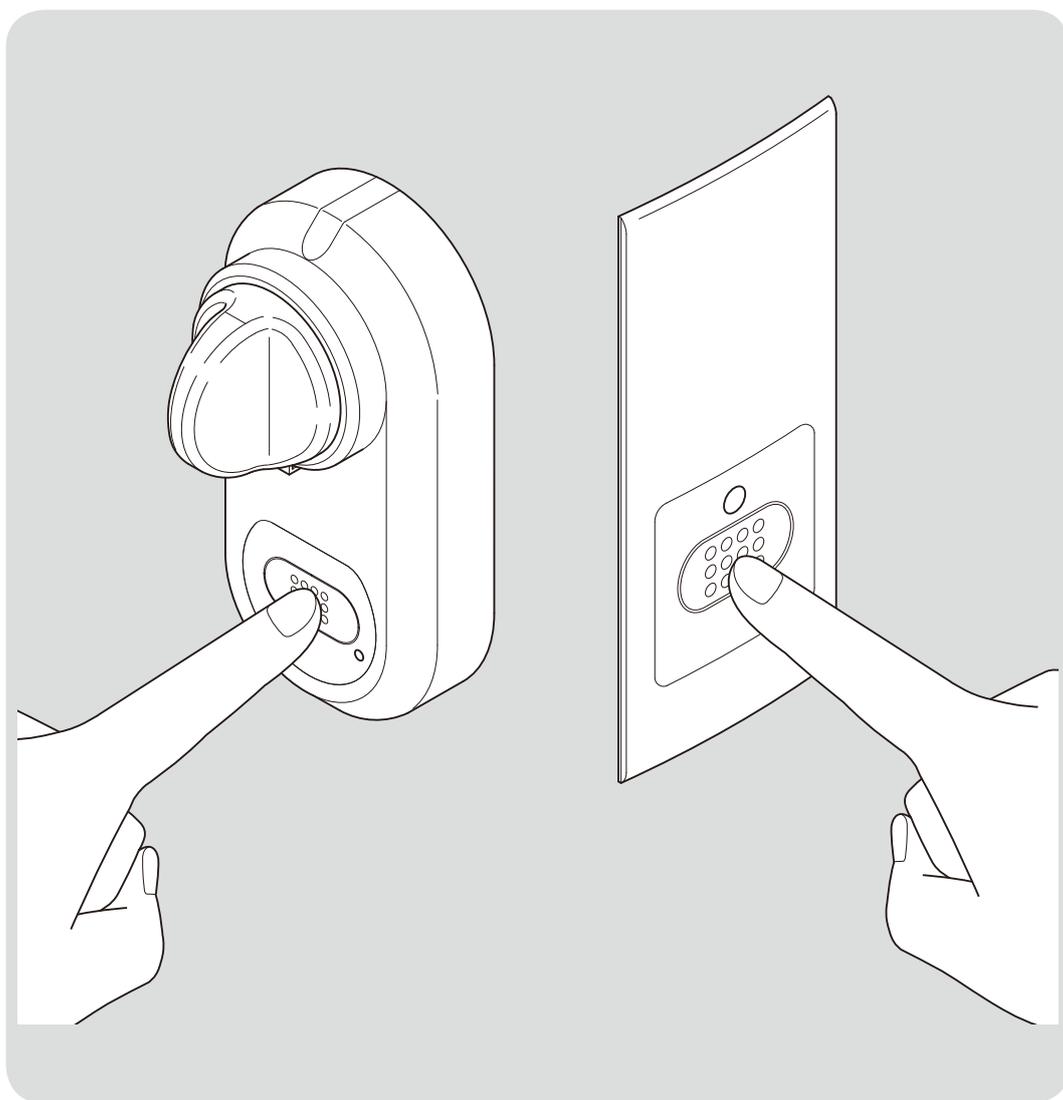


タッチ/ノータッチ切替キーシステム

取付け説明書



取付け作業にあたって

この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。

目次

| | |
|---------------------|-------|
| ■はじめに | 1 |
| ■取付けされる方へのお願い | 1 |
| ■取付けされる前に注意して頂きたいこと | 1 |
| ■取付け手順とお願い | 2 |
| ■各部名称図 | 3 |
| ■部品の取付け、配線接続方法 | 4・5 |
| ■玄関ドアへ部品取付け | 6・7 |
| ■配線コードの引込み、通電金具の取付け | 8 |
| ■インターフェイスユニットの取付け | 9 |
| ■建付け調整方法 | 10～12 |
| ■動作の確認 | 13・14 |
| ■ドア内配線 色別信号内容 | 15 |
| ■外形寸法図 | 16 |
| ■定格 | 16 |

はじめに

このたびは、タッチ / ノータッチ切替キーシステムをご採用いただきありがとうございます。お施主さまに末永く満足していただくためにも、このマニュアルにより正しい取付けおよび動作の確認をしてください。

なお、このマニュアルはセットの各部の取付け結線の仕方およびシステム全体としての動作の説明がしてあります。ご不明な点などありましたら、最寄りの当社営業所にお問合わせください。

| 問合わせ事項 | 連絡先 | TEL |
|--------|---------------|----------------|
| 商品全般 | お客さま相談センター | ☎ 0120-126-001 |
| 修理のご依頼 | LIXIL修理受付センター | ☎ 0120-413-433 |

取付けされる方へのお願い

●引渡し時、お施主さまに使い方を説明し、取扱い説明書をお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 交流 100 V を機器本体に直接接続する（タッチ / ノータッチ切替キーセット）配線・取付け・結線は、電気工事士の資格が必要です。必ず、電気工事店さまにご依頼ください。
- アース端子に、アース（D 種接地）工事を必ず実施してください。アース工事されていないと、外部からの過電圧で機器が破損したり、外部および機器間のノイズにより誤作動の原因となります。

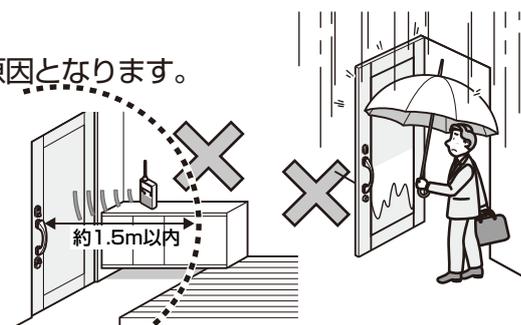
取付けされる前に注意して頂きたいこと

●本製品の使用可能範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ 、使用周囲湿度範囲は 20% ~ 90%RH です。温度が上昇するところ（直射日光・直接暖房熱の当たるところ・ボイラーの近くなど）や -10°C よりも温度が低くなる場合があるところ、通気性が悪く湿気の多いところには使用しないでください。又、寒冷地では、風除室を設置してご使用ください。

■設置場所のご注意

●次のような場所への設置は避けてください。故障や動作不良の原因となります。

- ・水・油・鉄粉・薬品などがかかる場所
- ・強い電波、ノイズ（工業地域・基地・空港など）のある環境
- ・他の電波式リモコンなどの機器から 1.5m 以内のところ（特に 315MHz と 125KHz 帯を使用している機器）
- ・パソコンやテレビなどの電波的なノイズを出す電化製品の付近
- ・軒が短く扉を開けた際に扉に直接雨水がかかる場所



取付け手順とお願い

●タッチ / ノータッチ切替キー付玄関ドアは従来の玄関ドアとは異なります。下記の点に留意してください。

①枠、本体、子扉、袖は、タッチ / ノータッチ切替キー付専用になります。

※枠・本体の中を配線が通りますので、電気錠仕様以外の玄関ドアは使用できません。タッチ / ノータッチ切替キー仕様の玄関ドアとしてセット注文してください

②タッチ / ノータッチ切替キーシステムには別途タッチ付電動サムターンセットが同梱された把手セットが必要となりますのでご用意ください。

③タッチ / ノータッチ切替キーシステム配線工事は内装工事をする前に、必ず電気工事店さまにご依頼ください。

※玄関ドアから各機器までの配線は、躯体の中を通ることになりますので、内装を仕上げる前に配線工事、埋込みボックスが取付けが必要となります。

④お施主さま、建築設計者と十分打合わせをしてください。

※躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。システム系統図、配線図を作成し、インターフェイスユニットや解錠ボタンの設置したい場所を決めてください。

- 取付け時には特に次のことを守ってください。
- 説明書に記載されている『お願い』事項は、不具合の原因になりやすいポイントになります。内容をご確認頂き、正しく取付けしてください。
 - アース (D 種接地) 工事を必ず実施してください。アース工事がされていない場合、外部および機器のノイズにより誤作動の原因となります。
 - 本体の建付け調整および錠前受け (ストライク) 調整を行い、手でロックの施錠・解錠がスムーズに行えることを必ず確認してください。
 - コネクターの接続は、「カチッ」という手応えがあるまでしっかり差込んでください。差込みが浅いと作動不良の原因になります。

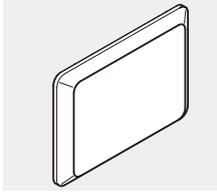
■設計・施工工程モデル

| 建築工程 (在来工法) | 電気錠システム取付け工程 | 参考情報 |
|---------------|---|---|
| お施主さまとの打ち合わせ | ・システム設置場所の決定 | カタログの エントリーシステム配線図 のページを参考にしてください。 |
| ↓ 建築設計 | ・システム系統図の作成 ・システム配線図の作成 | |
| ↓ サッシの取付け | ・玄関ドアへ部品取付け ・木枠に配線用加工、ドア枠の取付け (躯体内配線コードの準備)、ドア本体の吊込み | 電気錠部品取付け説明書【把手セット同梱】 を参照ください。 枠同梱の 通電金具の取付け説明書 を参照ください。 ※躯体内配線コード (インターフェイスユニットセット同梱) は、玄関ドア枠を躯体に取付ける前にドア縦枠内に通しておく必要があります。 インターフェイスユニット接続ガイド【インターフェイスユニットセット同梱】 を参照してください。 |
| ↓ 電気配線工事 | ・電気配線工事 ・インターフェイスユニット取付け場所の準備 | インターフェイスユニット接続ガイド【インターフェイスユニットセット同梱】 を参照してください。 ※埋込みボックスは付属品ではありません。市販の埋込みボックスを用意してください。 |
| ↓ 内装工事 | | |
| ↓ 電気器具の取付け | ・インターフェイスユニットと他社接続品の取付け、結線 ・動作確認 | |
| ↓ 竣工 | | |

各部名称図

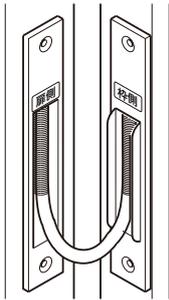
■システム全体の名称

■インターフェイスユニット



※ドア吊元付近に設置します。

■通電金具



※ドア吊元に取付け

■専用リモコン



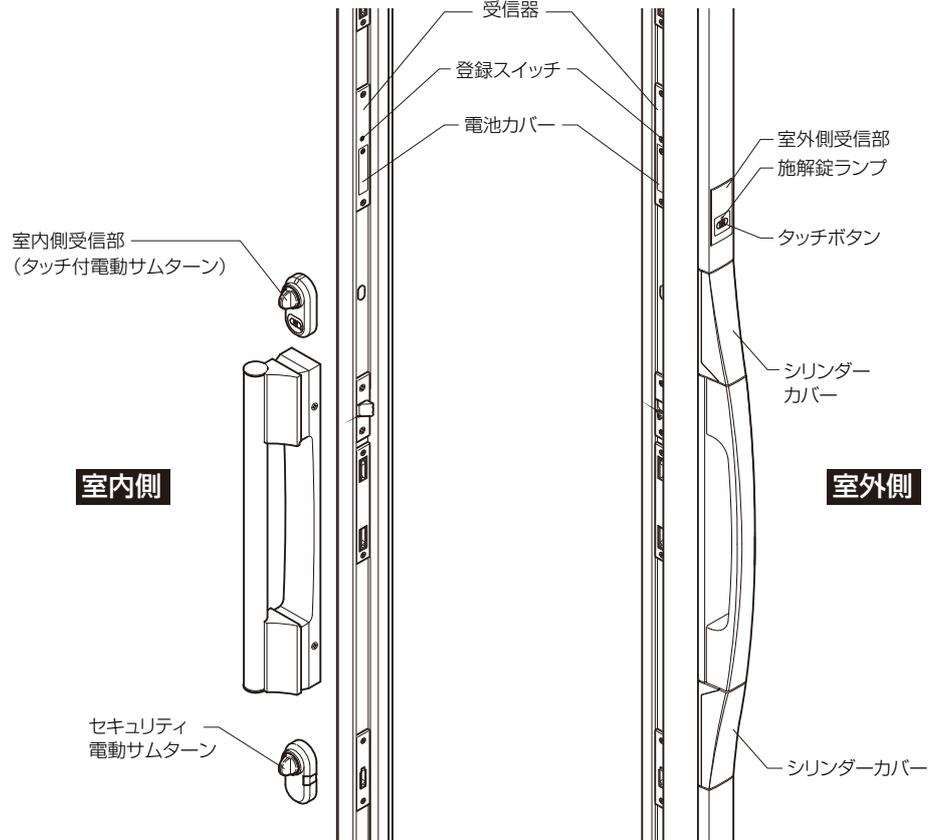
2個付属

又は

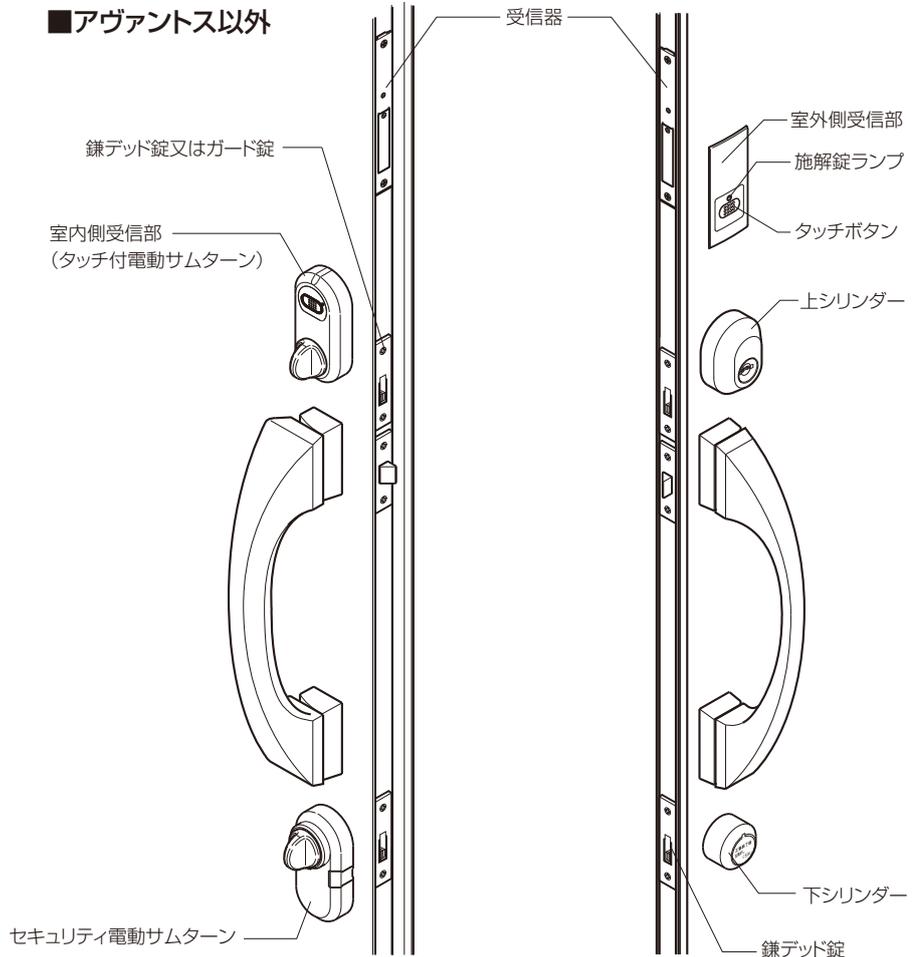
2個付属

※商品により同梱される専用リモコン形状は異なります。

※図は玄関ドア「アヴァントス」を示します。



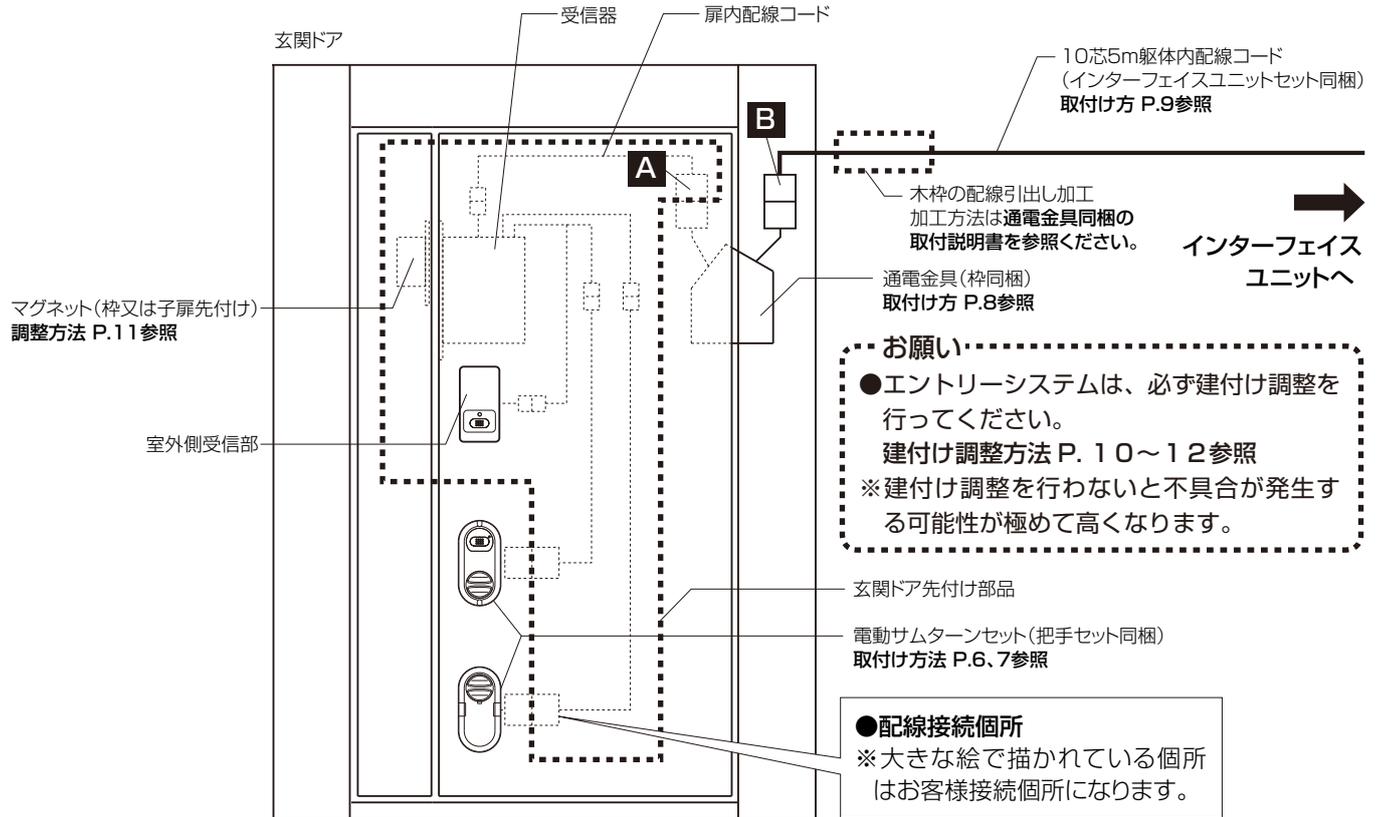
■アヴァントス以外



部品の取付け、配線接続方法

■部品取付け状態

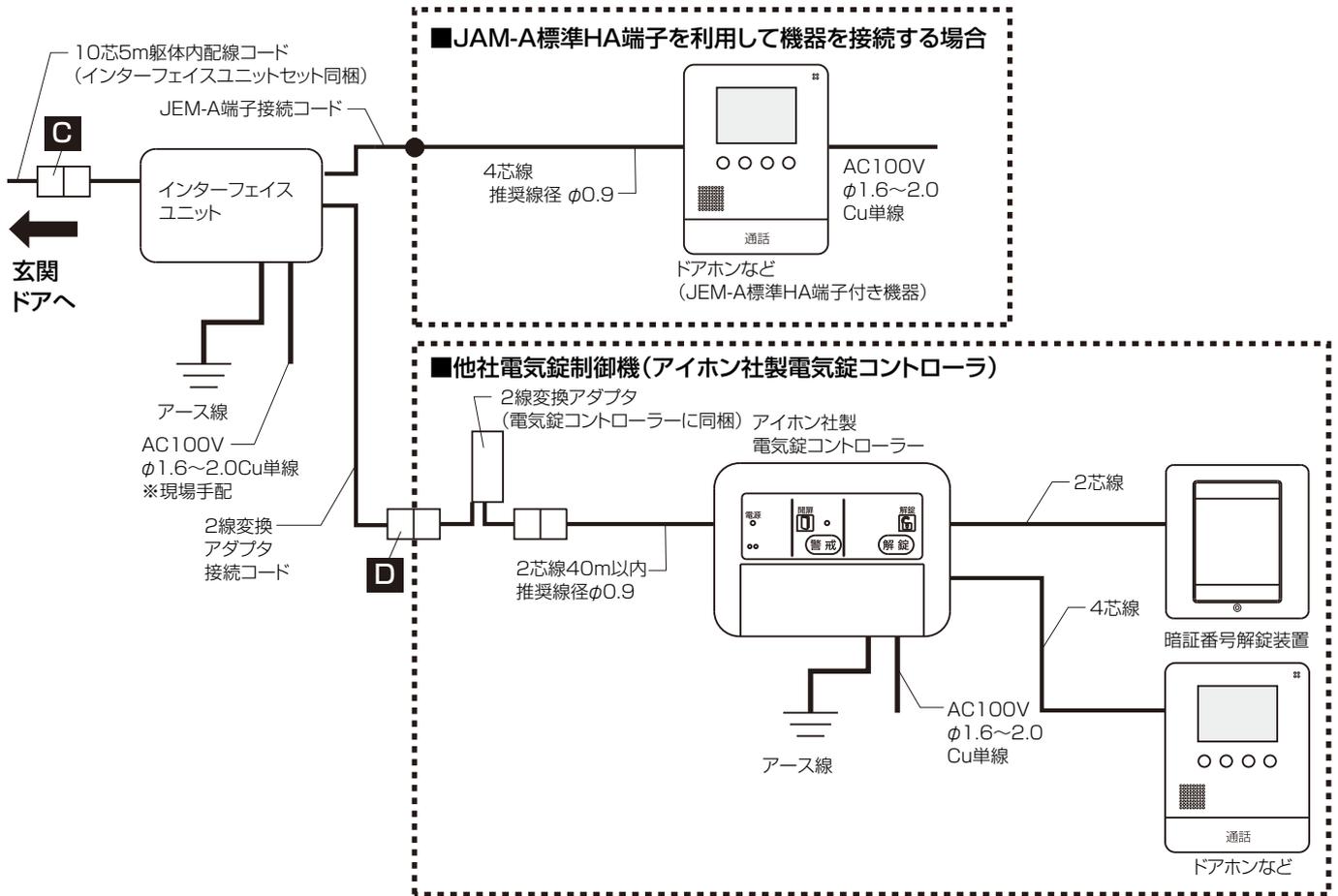
■玄関ドア



■部品明細

| タッチ付電動サムターンセット (把手セット同梱) | | 通電金具 (枠同梱) | |
|--|------------------------------|------------|------------------------|
| タッチ付電動サムターン | セキュリティ電動サムターン | 通電金具 | |
| | | | |
| | (取付け用ねじ入り) | (取付け用ねじ入り) | |
| インターフェイスユニットセット | | | |
| インターフェイスユニット | | 躯体内配線コード | |
| | | | |
| インターフェイスユニット本体 ※躯体内配線接続コード (9芯 0.2m) 取付け済 | JEM-A 端子接続コード (4芯 0.2m) / 1本 | 皿小ねじ / 6本 | 躯体内配線コード (10芯 5m) / 1本 |
| | | | |
| プレートセット | 2線変換アダプタ接続コード (8芯 0.2m) / 1本 | 丸木ねじ / 6本 | 引戸専用コード (2芯 0.2m) / 1本 |

■インターフェイスユニットの接続方法例（電気工事士さま作業部分）



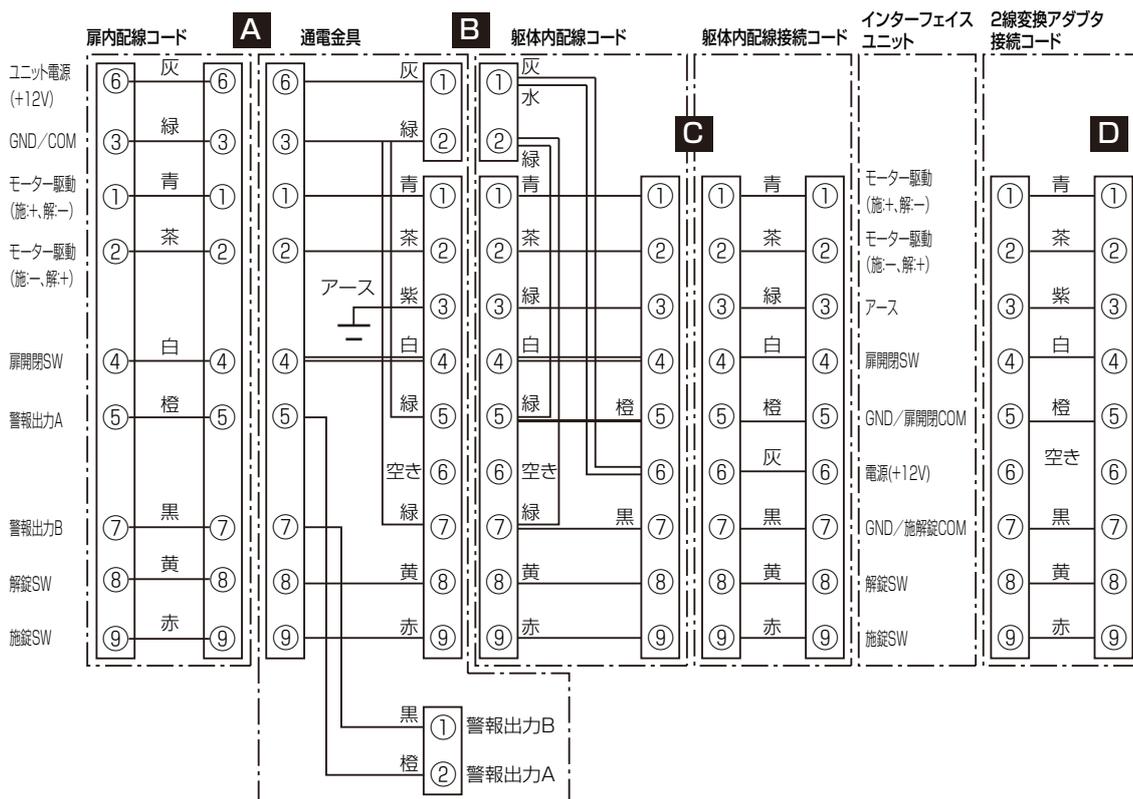
※ 〇 囲いの中の商品、配線は全て現場手配（選択品）になります。（上図と現物は異なる場合があります。）

※ 他社品を接続する場合は、必ず接続する機器の説明書を確認してください。

※ JEM-A 端子を利用して接続できる機器は、JEM-A 標準 HA 対応の電気錠システムと接続できるもののみになります。

※ 他社電気錠制御機を使用する場合、JEM-A 端子を使って接続する機器は他社電気錠制御機に接続してください。

■配線の色別信号内容

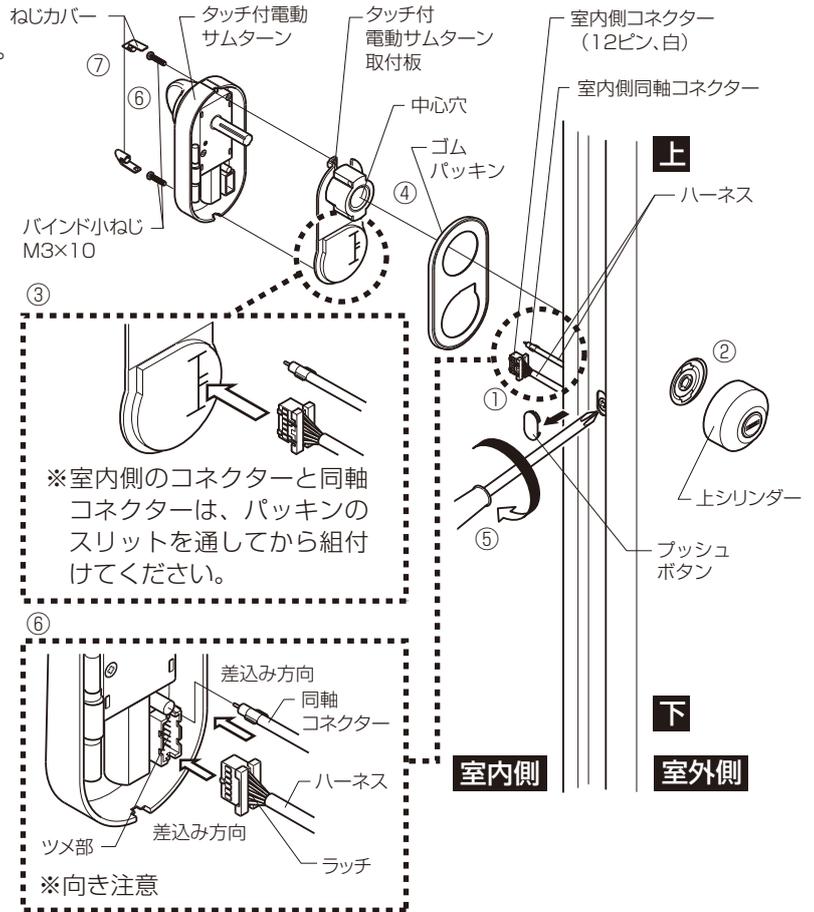


玄関ドアへ部品取付け

■アヴァントスの場合

1 タッチ付電動サムターンの取付け

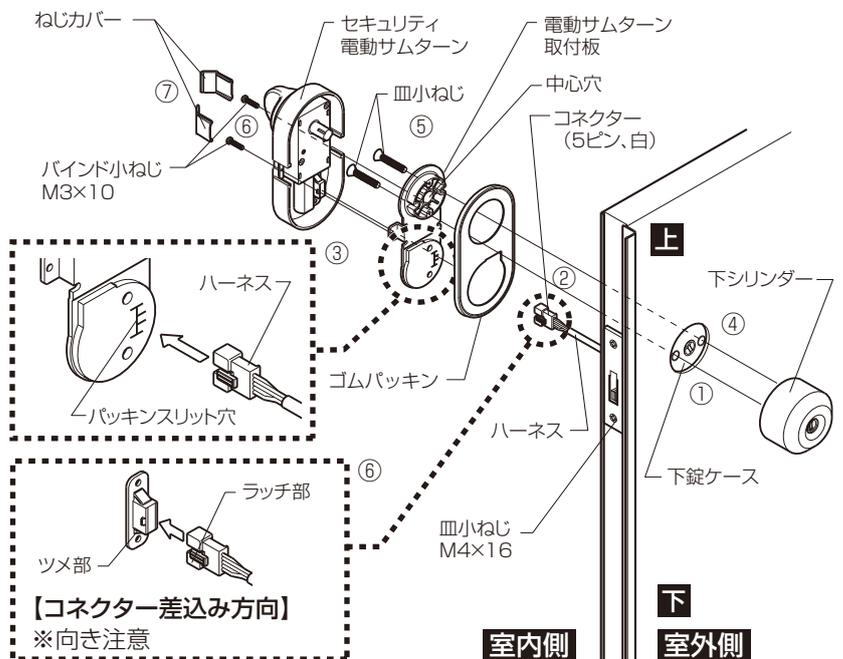
- ① ドアから8cm以上ハーネスを引き出してください。
- ② 上側シリンダーをリクシルマークを上にして上錠ケースの丸穴に合わせて差込み、保持します。
- ③ ドアから引き出した「室内側」とタグのついたハーネスをあらかじめゴムパッキンと電動サムターン取付板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④ タッチ付電動サムターン取付板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせて差込み、保持します。
※このときシリンダーとタッチ付電動サムターン取付板がしっかりと奥まで挿入され、斜めになっていないことを確認してください。
- ⑤ 扉エッジ面にあるプッシュボタンを外し、固定用ねじを時計方向に止まるまで回して固定します。(約8回転)固定したらプッシュボタンを元に戻します。
※このねじを回すことにより内部で固定ピンが移動し、シリンダーと取付板が固定されます。
- ⑥ タッチ付電動サムターンにハーネスのコネクター2本を向きを合わせてしっかりと差込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
※このときパッキンのヒレが電動サムターンに噛み込まないように注意してください。
- ⑦ バインド小ねじの上にねじカバー(2カ所)を取付けます。



2 セキュリティ電動サムターンの取付け

- シリンダーカバーを手前に引っ張って反時計方向に回転させると、シリンダー取付け穴があります。シリンダーを取付けた後は、時計方向に回転させて閉じてください。

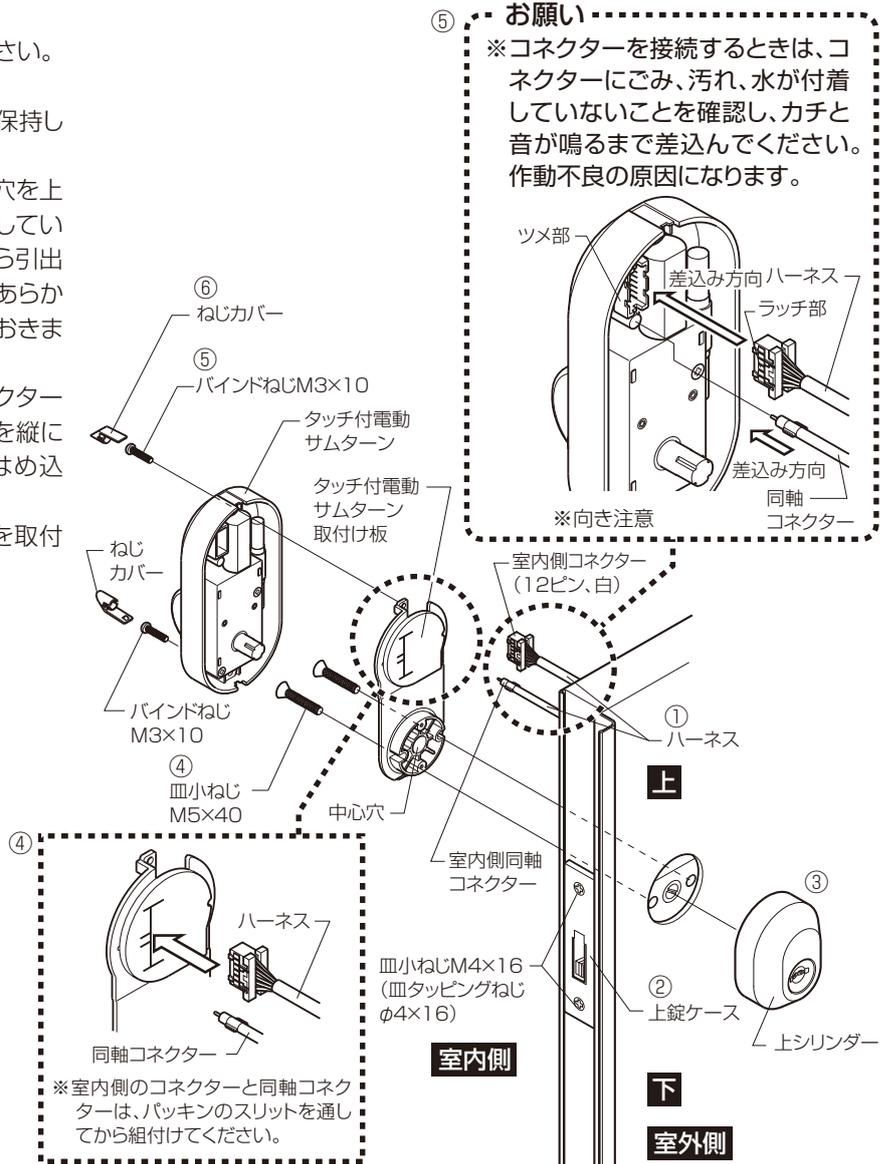
- ① 本締め用シリンダーを上に向けます。
- ② 本締め用シリンダーの出っ張り(4カ所)を、本締め用錠ケースの角穴に合わせて差込みます。
- ③ セキュリティ電動サムターン取付け板の中心穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで本締め用シリンダーに取付けます。このとき、ドアから引出したハーネスをセキュリティ電動サムターン取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ④ セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターをしっかりと差込み、サムターンツマミを縦に向けセキュリティ電動サムターン取付け板にはめ込み、バインド小ねじ(2カ所)で取付けます。
- ⑤ バインド小ねじの上にねじカバー(2個)を取付けます。



■アヴァントス以外の場合

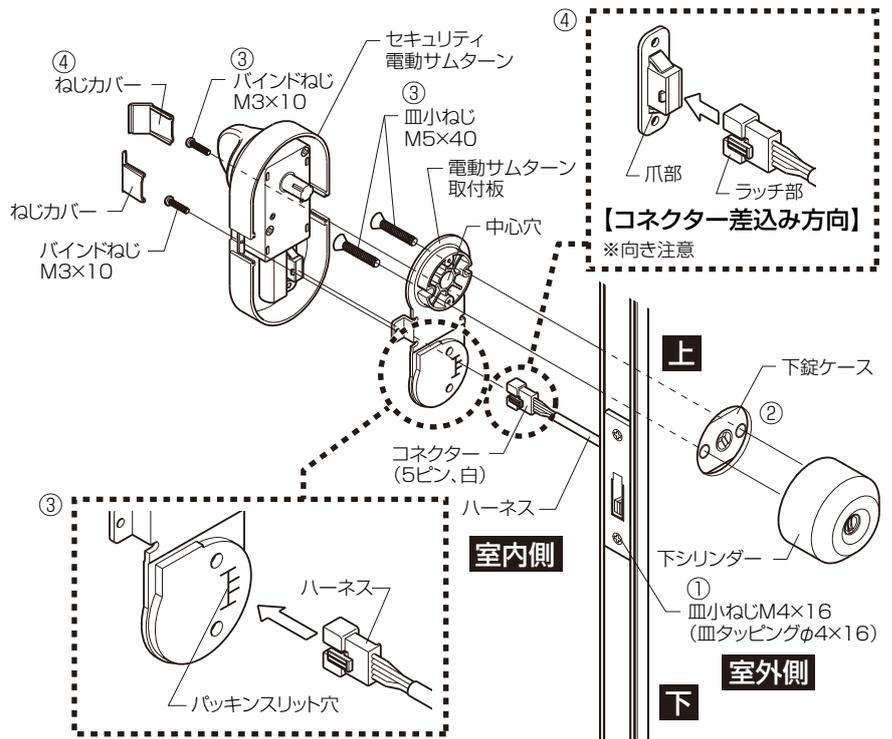
1 タッチ付電動サムターン取付け

- ①ドアから 8cm 以上ハーネスを引出してください。
- ②皿小ねじで上錠ケースを取付けます。
- ③シリンダーを上錠ケースの丸穴に合わせて保持します。
- ④タッチ付電動サムターン取付け板の中心の穴を上錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで保持しているシリンダーを取付けます。このときドアから引出した「室内側」とタグの付いたハーネスをあらかじめ取付け板のパッキンスリット穴に通しておきます。
- ⑤タッチ付電動サムターンにハーネスのコネクター 2 本をしっかり差込み、サムターンツマミを縦に向けタッチ付電動サムターン取付け板にはめ込み、バインドねじ (2 箇所) で取付けます。
- ⑥バインドねじの上にねじカバー (2 箇所) を取付けます。



2 セキュリティ電動サムターンの取付け

- ①皿小ねじで下錠ケースを取付けます。
- ②下シリンダーを、下錠ケースの丸穴に合わせて保持します。
- ③電動サムターン取付け板の中心の穴を下錠ケースの中心に合わせ、皿小ねじで下シリンダーを取付けます。このときドアから引出したハーネスを、電動サムターン取付け板のパッキンスリット穴にあらかじめ通しておきます。
- ④セキュリティ電動サムターンにハーネスのコネクターを差込み、サムターンツマミを縦に向け電動サムターン取付け板にはめ込み、バインドねじで取付けます。
- ⑤バインドねじの上にねじカバー (2 箇所) を取付けます。



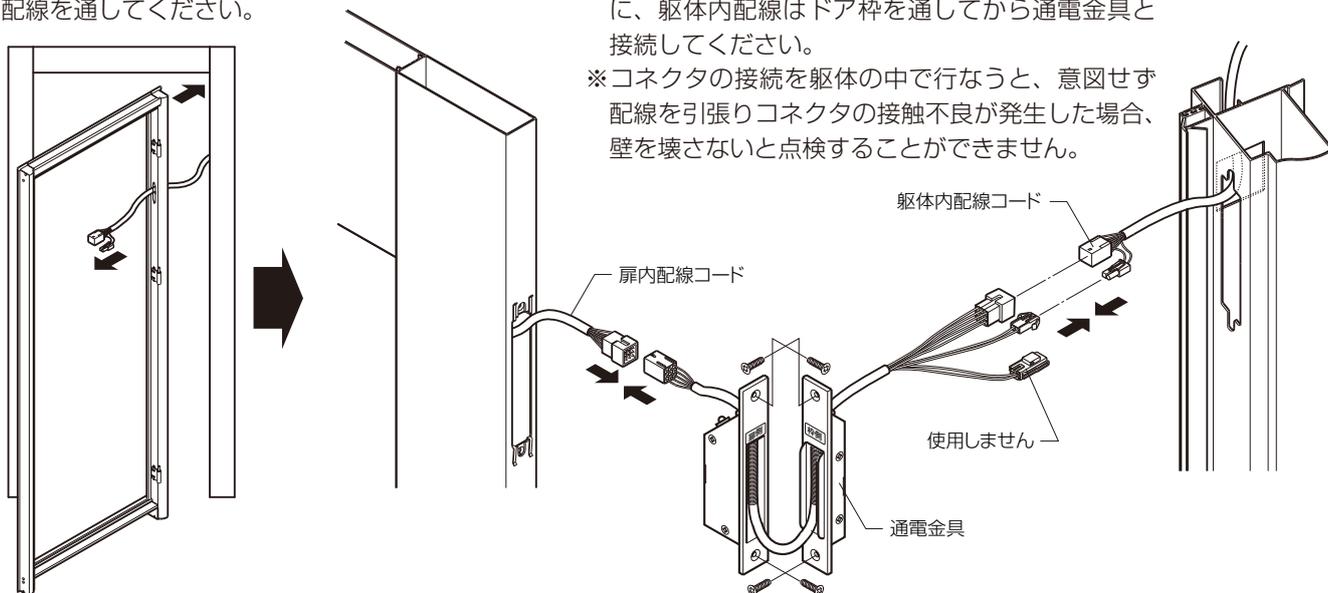
配線コードの引込み、通電金具の取付け

■通電金具の取付け方法

- ①通電金具（枠同梱）に入っている取付け説明書にしたがって枠周りの配線用木加工を行います。
- ②ドア枠を躯体に取付ける前に、躯体内配線コード（インターフェイスユニットセット同梱）を通してください。
- ③ドアから出ている扉内配線コードと枠から出ている躯体内配線コードを通電金具のコネクタを接続させます。同梱のねじを使用し、通電金具をドア本体、枠に取付けます。（スピードナットが同梱されている場合はスピードナットを取付けてからねじをしめてください。）

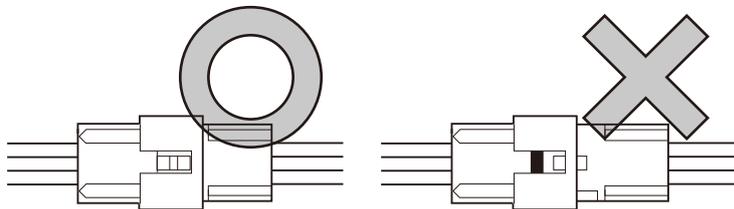
■通電金具の取付け手順

- ドア枠を躯体に取付ける前に、配線を通してください。

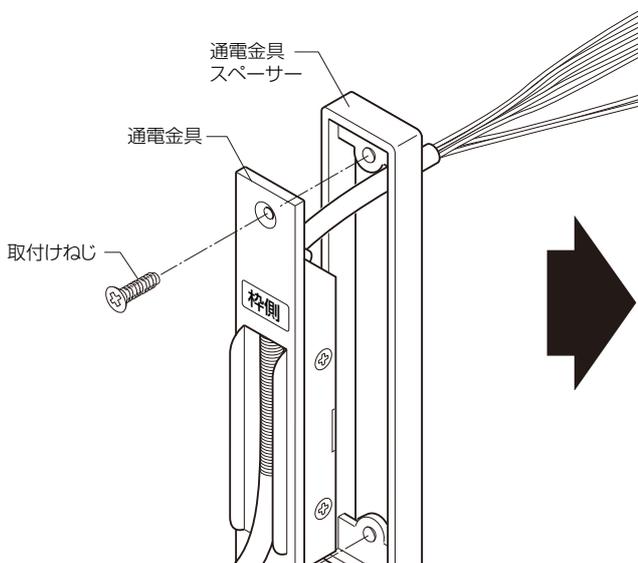


お願い

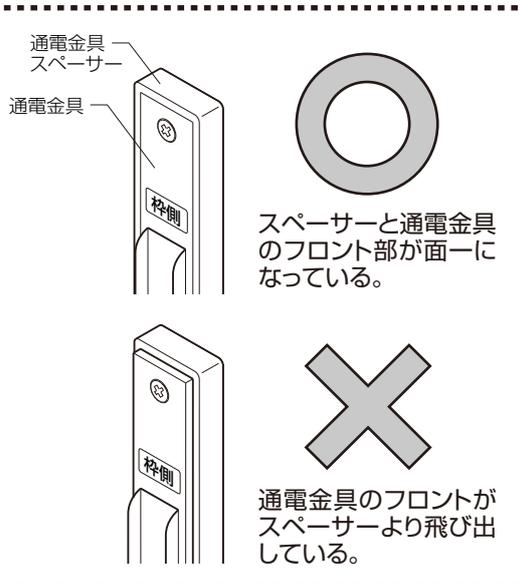
- ※コネクタの接続は、「カチッ」という手応えがあるまでしっかり差込んでください。



■アヴァントスの場合の注意事項



- ※通電金具スペースャーには向きがあります。向きが合っているかどうか確認をお願いします。（工場出荷時は正常な向きで結束し、そのまま取付けるだけで正しく取付けられます。）

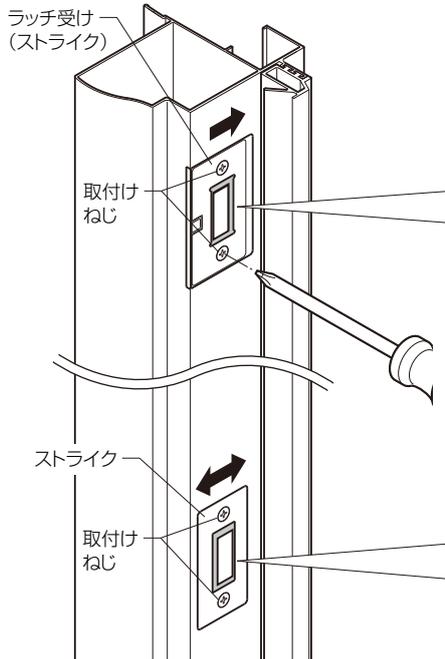


建付け調整方法

● ドアを押したり、引っ張ったときにサムターンを手で回しても回らない場合や重い場合や、ドアの閉まる速度が遅く、うまく錠がかからない場合は、調整が必要です。以下の方法で建付け調整をしてください。

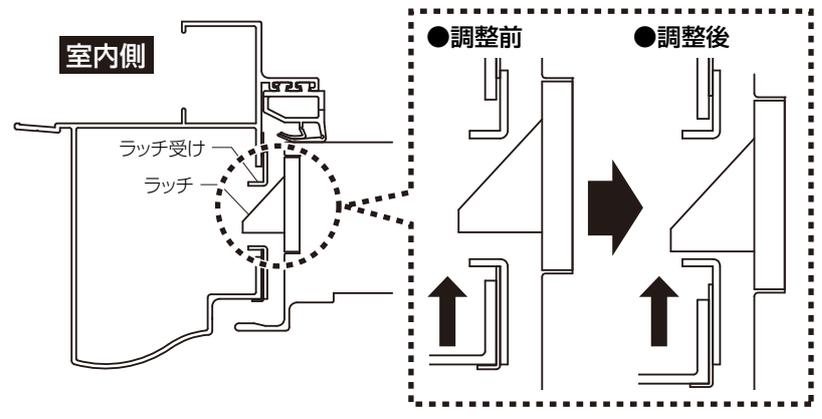
1 ストライクの調整

● ストライクの取付けねじをゆるめる（1～2回まわす）と内外方向、上下方向にストライクを調整できます。



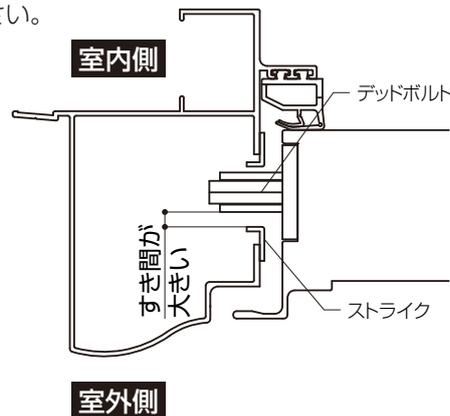
※ねじを外さないでください。外してしまうと部品の取付けができなくなります。

①ラッチ受けを調整して内外方向のガタツキを少なくします。



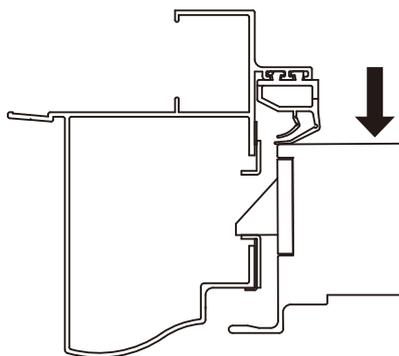
②デッドボルトがストライクに当たらないようにストライクを調整します。

※ストライクを調整する際は、室外側の方のすき間が大きくなるように調整してください。

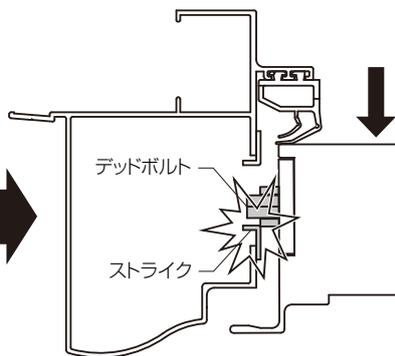


■調整しないままだと…

●ラッチ受けの場合

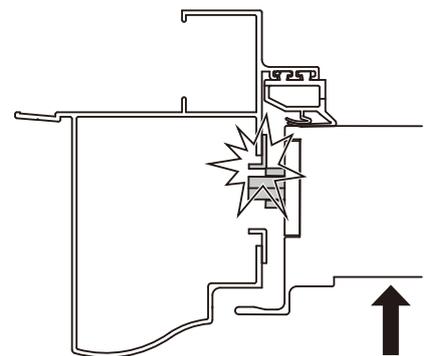


※ドアが風などで押されて開こうとしているときに施錠すると…



※デッドボルトがストライクに当たり施錠できません。

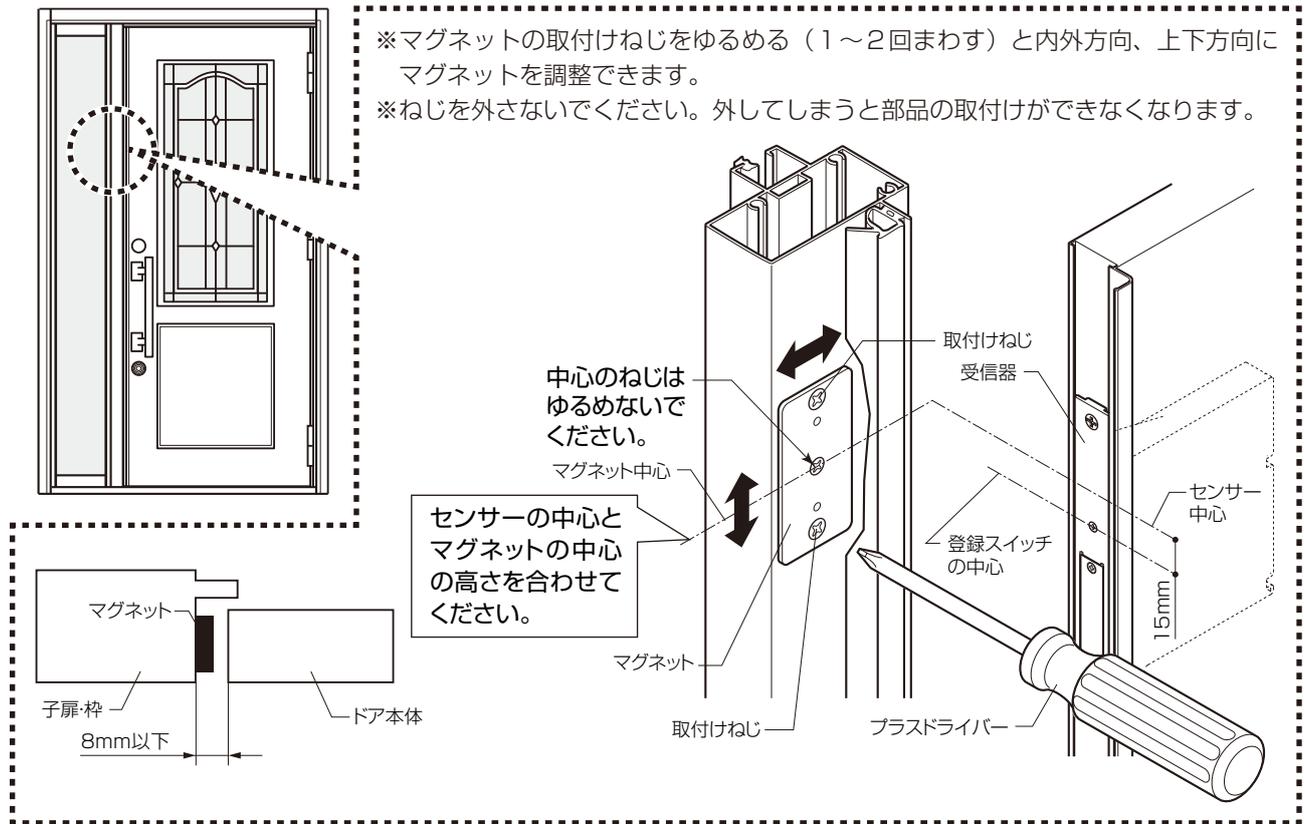
●ストライクの場合



※ドアが風などで押されたときにデッドボルトがストライクに当たり、施錠できません。

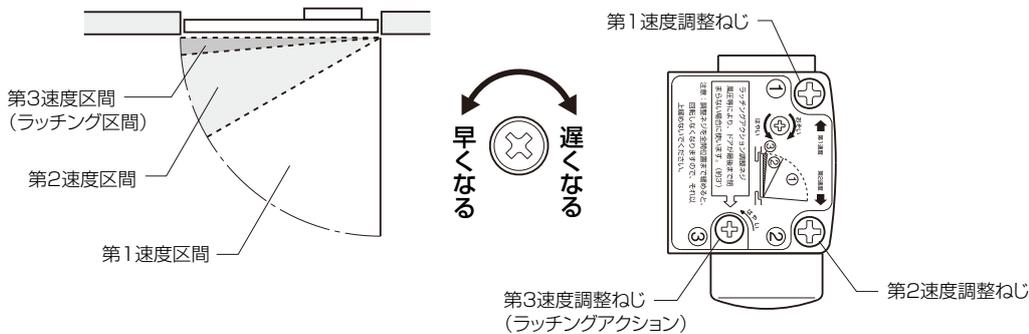
2 マグネットの調整

- 手で錠を回したときにピ音が5回鳴る場合や電動で解錠は出来るのに施錠が出来ない場合は、マグネットがズレています。以下の方法で調整してください。



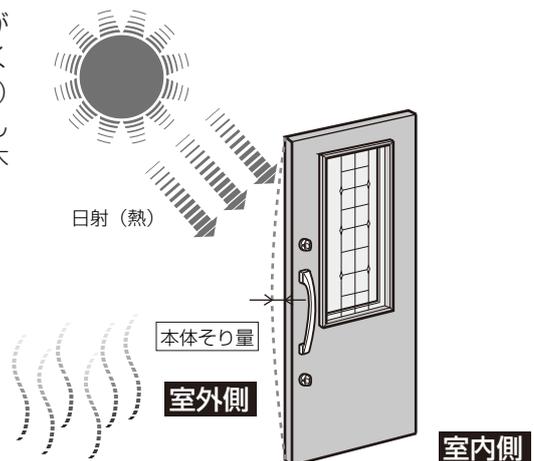
3 ドアクローザーの調整

- ドアが確実に閉まるようにドアクローザーを調整します。
- ※ドアを閉速度が遅すぎると誤作動が起ったり、自動施錠されないおそれがあります。



4 熱ソリの可能性がある場合

- 玄関ドアに西日などがあたり、室内外の温度差が高くなって熱ソリが発生する可能性がある場合は、熱ソリが発生するとドアが閉まり難くなり、電気錠の作動不良の原因になりますので事前に丁番（ヒンジ）を調整してドア本体を室外側に出すことで熱ソリの影響を受け難くしてください。（このソリは温度差が少なくなると元に戻るなのでドアの不具合ではありません。）



■ドアの調整方法（丁番タイプ）

- ① ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ（4本）と丁番裏板取付けねじ（2本）をゆるめます。

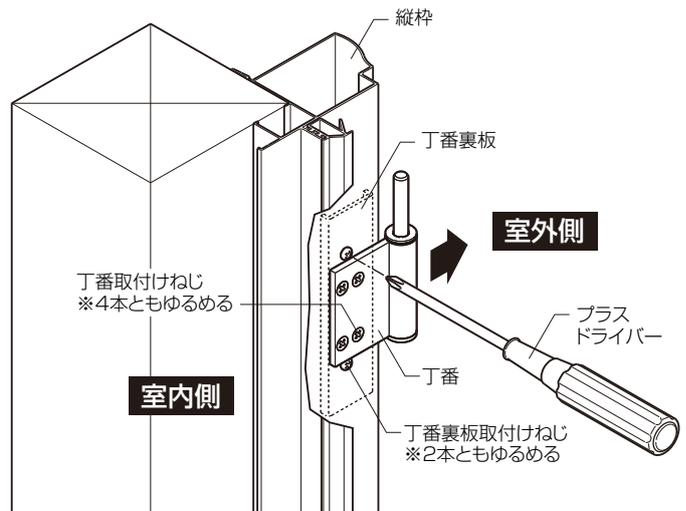
●お願い

※取付けねじを全部外さないでください。
丁番裏板が脱落し、取付けられなくなります。

- ② 丁番板ごと前に出すと室外側に 1.5 mm、後にずらすと - 1.5 mmまでドア本体が動きます。
- ③ ①でゆるめた丁番取付けねじと、丁番裏板取付けねじを締付けます。

●お願い

※丁番取付けねじは、 $2.5 \pm 0.5N \cdot m$ { $25 \pm 5kgf \cdot cm$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。



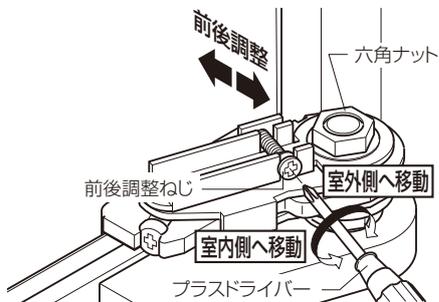
■ドアの調整方法（ピボットヒンジタイプ）

■前後・左右方向の調整

- ① ドア上部ピボットヒンジ・ドア下部ピボットヒンジのうち、調整したい方のピボットヒンジカバーを外します。
- ② 六角ナットを調整スパナでゆるめます。
- ③ 下図にしたがって調整ねじを回します。
- ④ 調整後、六角ナットを確実に締め、カバーを取付けます。

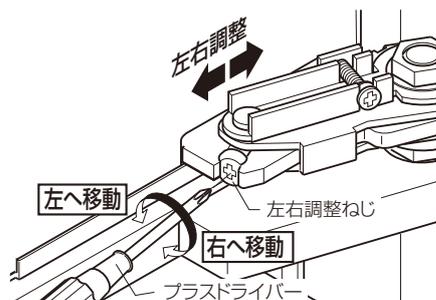
■前後調整ねじ

- 右に回すとドア本体が室内側に移動し、左に回すと室外側に移動します。（調整幅± 3 mm）



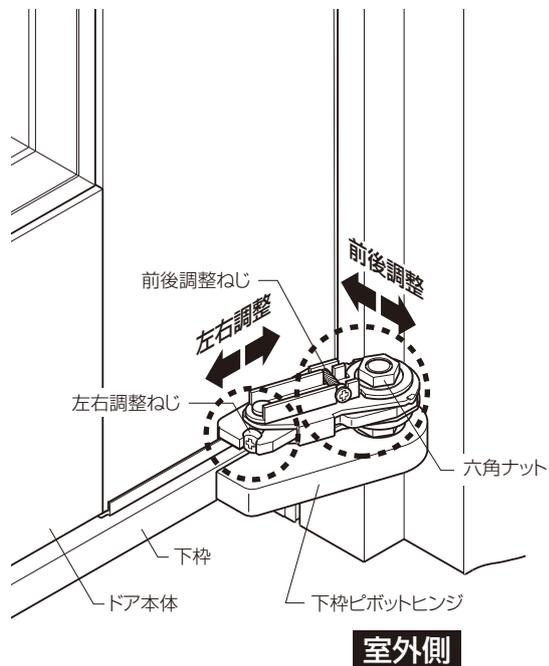
■左右調整ねじ

- 右に回すとドア本体が外観右に移動し、左に回すと外観左に移動します。（調整幅± 3 mm）



●お願い

※調整ねじは、調整幅以上回さないでください。故障の原因となります。
※左右、前後を同時に調整した場合は、± 3mm 調整出来ない場合があります。
※調整幅いっぱいまで調整を行うと通電金具が接触する場合があります、ドアが閉まらないおそれがあります。



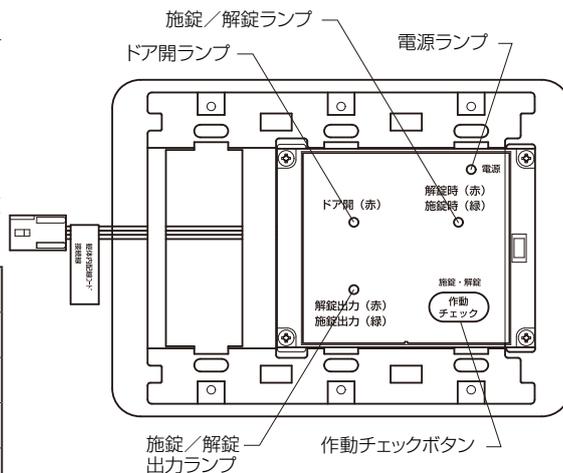
動作の確認

- 取付け作業完了後（配線コードの結線、部品の取付け、建付け調整完了後）にインターフェイスユニットを使っての作動チェックをすることができます。
- 専用リモコンやその他機器での操作方法は、各取扱い説明書を確認してください。なお、それらの取扱い説明書はお施主さまに渡しますので、汚したり破損しないように注意してください。

■作動チェックをする前に

- ①サムターンを手で回して施錠解錠がスムーズにできるか確認します。
※引掛りがあったり操作が重いなどの場合は、各取付け説明書を確認して建付け調整を行ってください。
- ②扉（障子）を閉めて、サムターン（サムターンツマミ）を上下とも施錠状態にします。

| 名称 | 表示内容 | お知らせ内容 |
|-------------|------|---|
| ■電源ランプ | 緑色点灯 | ・AC100Vの電源が接続されています。 |
| | 消 灯 | ・AC100Vの電源が接続されていません。 |
| ■施錠／解錠ランプ | 緑色点灯 | ・施錠完了後 60 秒間緑色で点灯します。 |
| | 赤色点灯 | ・解錠完了後 60 秒間赤色で点灯します。 |
| | 消 灯 | ・施錠（解錠）完了後 60 秒以上経過しています。 |
| ■ドア開ランプ | 赤色点灯 | ・扉（障子）を開いているときは赤色で点灯します。 |
| | 消 灯 | ・扉（障子）が閉まっているときは消灯します。 |
| ■施錠／解錠出カランプ | 緑色点灯 | ・インターフェイスユニットが扉（障子）へ施錠信号を出したときに 1 秒間 緑色に点灯します。 |
| | 赤色点灯 | ・インターフェイスユニットが扉（障子）へ解錠信号を出したときに 1 秒間 赤色に点灯します。 |
| ■作動チェックボタン | — | ・ボタンを押すとインターフェイスユニットが解錠時には施錠、施錠時には解錠の信号を扉（障子）へ出します。 |



- ※作動チェックボタンを押して解錠させたときは、扉（障子）開閉後、又は閉状態のまま 30 秒経過したときの自動施錠はしません。
- ※インターフェイスユニットの表示内容とお知らせ内容が違う場合は、P.14『■故障かな…と思ったときに』を参考に対処を行ってください。

■故障かな…と思ったときに【共通】

■インターフェイスユニットからの操作で作動チェックボタンを押しても作動しない場合

| 確認ポイント | | 考えられる原因 | 対 策 |
|--|-------|---|---|
| 電源ランプが消灯している。 | YES → | 電源 (AC100V) が接続されていません。 | 電源を正しく接続し直してください。 |
| ドア開ランプが点灯していて扉 (障子) を閉めても消灯しない。施錠 / 解錠ランプが消灯していて手で施解錠しても点灯しない。 | YES → | インターフェイスユニットから扉 (障子) までの間の配線コードで正しくコネクタ接続されていない個所があります。 | コネクタ接続個所は3~4個所ありますので、不良個所を特定して接続し直してください。 |
| | | 電源線 (灰色の配線) の断線、接触不良が考えられます。 | 不良個所を特定して接続し直してください。 |
| ドア開ランプが点灯していて扉 (障子) を閉めても消灯しない。施錠 / 解錠ランプは正常に点灯している。 | YES → | マグネットの位置がずれている【開き戸のみ】 | 取付け説明書を参照し、マグネット位置の調整などの建付け調整を行ってください。 |
| | | 閉扉信号線 (白色の配線) の断線、接触不良が考えられます。 | 不良個所を特定し、接続し直してください。 |
| 各表示ランプは正常に点灯、消灯しているが作動チェックボタンで操作できない。 | YES → | モーター駆動信号線 (青、茶色の配線) の断線、接触不良が考えられます。 | 不良個所を特定し、接続し直してください。 |
| 扉 (障子) からエラー音 (ピ音) が20回鳴っている。 | YES → | 建付けが悪く、サムターンが引っ掛かる場合があります。 | 取付け説明書を参照して、建付け調整を再度行ってください。 |
| | | サムターンなどの部品の取付けや、配線の接続が正しくありません。 | 取付け説明書を参照して、部品の取付けをし直してください。 |

※作動チェックボタンを押しても作動しない場合は、専用リモコン使って操作を行ってください。扉や障子に電源が供給されていれば正常に動作しますので原因個所を特定しやすくなります。

■JEM - A標準 HA 端子で接続した機器からの操作ができない場合

(ただしインターフェイスユニットでの操作では問題なく操作できること)

※配線の接続間違いや断線の可能性がありますので、P.9の『■JEM-A 端子について』を参照し、不良個所を特定して接続し直してください。

※機器によっては初期設定が必要になる場合もありますので、接続された機器の説明書をご確認ください。

■2線変換アダプタ接続コードで接続したアイホン社製電気錠コントローラーから操作ができない場合 (ただしインターフェイスユニットでの操作では問題なく操作できること)

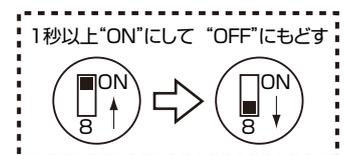
| 確認ポイント | | 考えられる原因 | 対 策 |
|--|-------|--|---|
| アイホン社製電気錠コントローラーのドア開、解錠表示灯が点灯状態のまま消灯しない。 | YES → | インターフェイスユニットと電気錠コントローラーを接続している配線 (2線変換アダプタ含む) の断線・接触不良が考えられます。 | 不良個所を特定して接続し直してください。 |
| アイホン社製電気錠コントローラーの各表示灯は正常に点灯・消灯しているが解錠ボタンを押しても解錠しない。もしくは施錠はするが施錠するまで時間がかかる。 | YES → | アイホン社製電気錠コントローラーでリセットを行っていません。 | 下の手順および電気錠コントローラーに同梱されている説明書を参照してリセットを実施してください。 |

●リセット手順

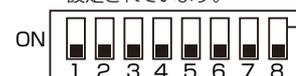
- ①接続完了後、扉 (障子) を閉め施錠した状態で電源スイッチを入れてください。
- ②設定スイッチ 8 を 1 秒以上 "ON" にしてから "OFF" にもどします。
- ③メインコントローラーの解錠ボタンを押してください。
- ④扉 (障子) の動きは『解錠 → 開扉 (リニア引戸の場合は自動開扉) → 閉扉 (リニア引戸の場合は自動閉扉) → 自動施錠』となります。ここまででリセット完了です。

※ "ON" の状態にしたままでは使用できません。

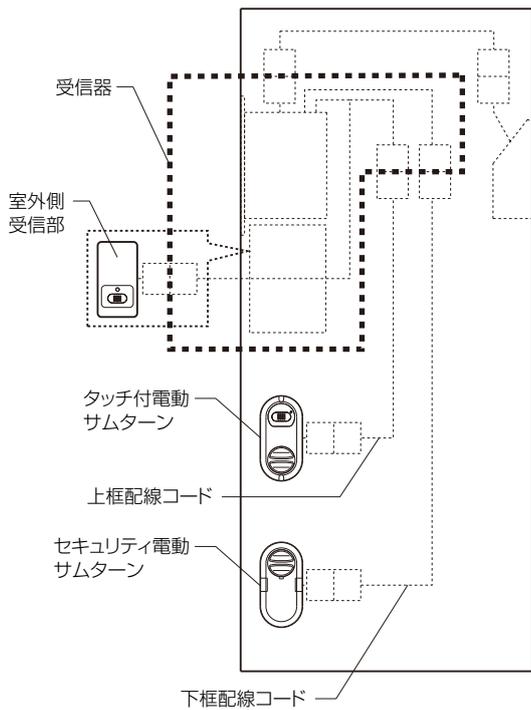
※配線を接続し直したり部品を交換した場合は、必ずリセットを実施してください。



※出荷時は下記の状態で設定されています。



ドア内配線 色別信号内容



●室外側受信部

- ① フェライト(A端)
- ② フェライト(B端)
- ③ タッチSW (COM)
- ④ タッチSW (+5V)
- ⑤ LED(GREEN)
- ⑥ LED(GND)
- ⑦ LED(RED)

●上框内配線コード

- ① 灰 ①
- ② 水 ②
- ③ 橙 ③
- ④ 白 ④
- ⑤ 緑 ⑤
- ⑥ 紫 ⑥
- ⑦ 桃 ⑦

●受信器

- ① 灰 ⑥ ユニット電源 (+12V)
- ② 水 ③ GND/COM
- ③ 橙 ① モーター駆動 (施+,解-)
- ④ 白 ② モーター駆動 (施-,解+)
- ⑤ 緑
- ⑥ 紫 ④ 扉開閉SW
- ⑦ 桃 ⑤ 警報出力A
- ⑧ 黒 ⑦ 警報出力B
- ⑨ 黄 ⑧ 解錠SW
- ⑩ 赤 ⑨ 施錠SW

●タッチ付電動サムターン

- ① タッチSW (COM)
- ③ タッチSW (+5V)
- ⑥ LED(RED)
- ⑧ LED(GREEN)
- ⑩ LED(GND)
- ⑤ フェライト(A端)
- ⑦ フェライト(B端)
- ② モーター駆動 (施-,解+)
- ④ モーター駆動 (施+,解-)
- ⑨ COM(GND)
- ⑪ 解錠SW
- ⑫ 施錠SW

- ① 橙 ①
- ③ 白 ③
- ⑥ 桃 ⑥
- ⑧ 緑 ⑧
- ⑩ 紫 ⑩
- ⑤ 灰 ⑤
- ⑦ 水 ⑦
- ② 茶 ②
- ④ 青 ④
- ⑨ 黒 ⑨
- ⑪ 黄 ⑪
- ⑫ 赤 ⑫

- ① 橙
- ③ 白
- ⑥ 桃
- ⑧ 緑
- ⑩ 紫
- ⑤ 灰
- ⑦ 水
- ② 茶
- ④ 青
- ⑨ 黒
- ⑪ 黄
- ⑫ 赤

●セキュリティ電動サムターン

- ① モーター駆動 (施-,解+)
- ② モーター駆動 (施+,解-)
- ③ COM(GND)
- ④ 解錠SW
- ⑤ 施錠SW

●下框内配線コード

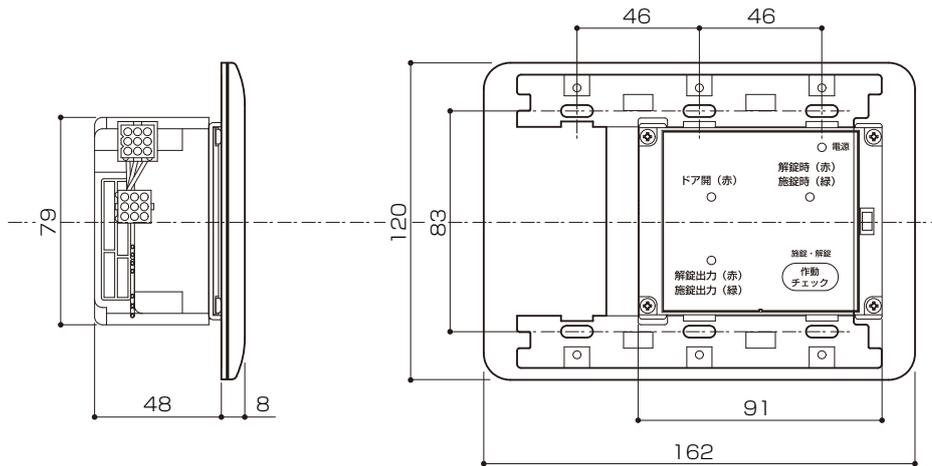
- ① 茶 ①
- ② 青 ②
- ③ 黒 ③
- ④ 黄 ④
- ⑤ 赤 ⑤

- ① 茶
- ② 青
- ③ 黒
- ④ 黄
- ⑤ 赤

- ① 桃 ⑥
- ② 緑 ⑦
- ③ 橙 ⑧
- ④ 白 ⑨

外形寸法図

■インターフェイスユニット



定 格

■専用リモコン (共通)

| | |
|--------|----------------------------|
| 電源電圧 | DC3V [ボタン型リチウム電池 (CR2032)] |
| 電池寿命 | 約1年 (1日10回の操作) |
| 電波種別 | 微弱電波 (許可申請不要) |
| 出力周波数 | 315MHz |
| 防水保護仕様 | 防滴 |
| 使用周囲温度 | 0℃～50℃ |
| 保存温度 | -20℃～60℃ |
| 使用周囲湿度 | 20%～90% RH |
| 使用範囲 | 一般家庭 |

■受信器 (タッチ / ノータッチ切替システム)

| | |
|--------|--------------------------|
| 電源電圧 | DC12V / [電源容量 : 0.5A 以上] |
| 出力周波数 | 125KHz |
| 使用温度 | -10℃～50℃ |
| 保存温度 | -20℃～60℃ |
| 使用周囲湿度 | 20%～90% RH |
| 使用範囲 | 一般家庭 |

■インターフェイスユニット (タッチ / ノータッチ切替システム)

| | |
|------------|-----------------------------|
| 電源電圧 | AC100V 50Hz/60Hz |
| 消費電力 | 10.8W (最大) |
| 通達距離 (配線数) | 通電金具まで0.3mm線で5m (10芯) |
| 色調 | 本体 : ミルキーホワイト、化粧プレート : ホワイト |
| 使用周囲温度 | -10℃～50℃ |
| 使用周囲湿度 | 20%～90% RH |
| 使用範囲 | 一般家庭 |

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001 FAX.03-3638-8447

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株)サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117
-

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで
受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433 FAX.☎0120-413-436

<http://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

LIXIL

Link to Good Living

LIXIL

タッチ／ノートタッチ切替キーシステム 取付け説明書

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL公式サイトまで

<http://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記公式サイトからご確認ください。

| | | | | |
|------|----------|--------|------|-------------|
| 取説番号 | MAM-115C | 事業所コード | ZZB2 | 2016.4.1 発行 |
|------|----------|--------|------|-------------|

